

令和 5年度予算見積調書

課室名：福祉政策課
 担当名：政策企画担当
 内線：3391

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
S4	埼玉県思いやり駐車場制度事業			一般会計	民生費	社会福祉費	社会福祉総務費	福祉のまちづくり普及推進事業費			
事業期間	令和5年度～ 令和8年度	根拠法令	埼玉県福祉のまちづくり条例		針路	07	誰もが活躍し共に生きる社会の実現		SDGsゴール	3, 11	
					分野施策	0703	障害者の自立・生活支援		SDGsターゲット	11-2	
1 事業概要 障害者など歩行が困難な方のための駐車区画について、事業者や市町村と連携して拡大を図るとともに、対象者に利用証を交付するパーキング・パーミット制度を運用し、駐車区画の適正利用を推進する。 埼玉県思いやり駐車場制度事業 66,958千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 利用証の作成、発行 イ 広報啓発 ウ 協力区画表示用啓発品の作成・配布 エ 県有施設の障害者等用駐車区画の路面塗装 (2) 事業計画 ア 利用証の作成、発行 利用証を作成し、市町村の窓口等を通じて対象者に利用証を発行する。 (対象：障害者、難病患者、要介護者、妊産婦、けが人など) イ 広報啓発 ・制度及び障害者等用駐車区画の適正利用を周知する。(チラシ・ポスター作成、配布) ・商業施設等、施設管理者に対し駐車区画の登録への協力を依頼する。 ウ 協力区画表示用啓発品の作成・配布 協力区画表示用啓発品を作成し、協力企業等に配布する。 エ 県有施設の障害者等用駐車区画の路面塗装 県有施設における障害者等用駐車区画の路面塗装を行う。 (3) 事業効果 対象者に利用証を発行し、障害者等用駐車区画を利用する際に掲げることで客観的に確認できるようになり、駐車区画の適正利用が促進される。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 県民、民間企業、市町村等との協働により、障害者等用駐車区画の適正利用が図られている。							
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)											
3 地方財政措置の状況 なし											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円 3,200千円×1人=3,200千円											
予算額				財 源 内 訳				一般財源	前年との 対比		
決定額	66,958						66,958	66,958			
前年額	0						0				

事業内訳書

事業名	埼玉県思いやり駐車場制度事業		
単位事業名	埼玉県思いやり駐車場制度事業	予算額	66,958千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	65,455	65,455	利用証、チラシ、ポスター作成 協力区画表示用啓発品の作成・配布 県有施設の障害者等用駐車区画の路面塗装
役務費	1,503	1,503	チラシ、ポスター郵送料
合計	66,958	66,958	